

■2018年度 日本建築学会大会都市計画部門 若手優秀発表賞受賞者一覧 (25名)

講演番号	発表者	タイトル
7006	中村 優里	全国都市緑化フェアがもたらすレガシーとその持続性について
7012	吉次 翼	日本版DMOによる観光地域づくりに向けた基礎的研究
7014	西 悠太	温泉観光地のライフサイクルと観光資源の管理に関する研究
7015	甲田 亮輔	新宿ゴールデン街を訪れる外国人観光客の期待と店舗の歓迎意向別対応
7021	丸岡 努	公共交通利便性と人口分布構造の関係に関する研究 地方都市における持続可能な都市構造のあり方に関する研究(函館、青森、八戸)その1
7038	小島 寛之	立地適正化計画制度の初動期における誘導区域設定の動向に関する研究 都市類型からみた全国アンケート調査の結果を通して
7042	神谷 安里沙	遊歩道整備による沿川建築物の変化に関する研究 大阪市道頓堀川を対象として
7043	佐藤 愛美	コンパクトシティ形成に向けて市民活動を複合化する都市拠点複合施設の計画手法 北海道夕張市における都市再編研究 その16
7051	沢畑 敏洋	函館市都市景観形成地域内における路地の分布状況と空間特性に関する研究
7091	益子 智之	ヴェンゾーナ市における市街地復興プロセスと市民参加の関係 イタリアにおける震災復興都市計画に関する研究(2)
7140	中野 卓	首都圏郊外における超高層集合住宅開発の動向に関する研究
7150	石井 智也	鉄道連続立体交差事業が商店の凝集性に及ぼす影響に関する研究
7152	陳 思テイ	新幹線駅周辺地区の都市形態に関する研究 -新幹線駅周辺地区の都市形態の類型化-
7158	堀野 智寛	ライブ・コンサート前の過ごし方にみる都市利用
7242	柴田 英恵	街並み環境整備事業実地地区における景観形成による土地価格への影響に関する研究
7243	但馬 慎也	坂井市旧三国町における過去の不動産流通傾向 歴史的市街地における不動産継承の実態に関する研究 その1
7311	角田 将吾	首都圏における私立大学キャンパスの都心回帰による過密化の実態
7388	関根 光樹	大規模震災における住宅復興事業実施過程と組織体制の関係 東日本大震災における宮城・岩手県の復興事業を対象として
7429	阿部 一咲子	岩手県大槌町における被災高齢女性の自宅再建過程での近隣交流の位置づけと交流復興のための支援の方向性 市民の防災力向上に向けて その75
7435	北村 彩夏	人口減少社会におけるグリーンインフラとしての空地デザイン技術ならびに空地まちづくりの構想技術に関する研究(その1) 空地活用スタートアップ時のマネジメントのプロセスの考察
7441	鈴木 健斗	富山県旧砺波郡における町家の分布状況及び外観特性 二階高・登り梁及び袖壁の組み合わせに着目して
7451	上野 萌香	那覇市新都心地区における緑地の微気象緩和作用についての実証的研究
7491	岸本 まき	道路網の機能的階層性からみた大地震時における緊急車両のアクセシビリティについて
7531	清水 健太	大正期の東京市隣接地域における市街地の形成過程に関する研究 関東大震災以前の向島地区(東京都墨田区)を事例として
7546	一色 千暁	京都 四条・東山地域における街路空間構成と歩行者分布の分析 居住者と観光客に着目して